

令和7年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立小野田小学校長

令和7年4月17日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数、理科の3教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	66.8%	○				
算数	58.0%	○				
理科	57.1%					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	76.9%					○
情報の扱い方に関する事項	63.1%	○				
我が国の言語文化に関する事項	81.2%	○				
話すこと・聞くこと	66.3%	○				
書くこと	69.5%	○				
読むこと	57.5%	○				

【考 察】

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができます。家庭学習や学期末に実施している漢字オリンピックの取り組みの成果です。今後も、文章の中で適切に漢字を使うことができるように意識して指導していきます。
- 「読むこと」の領域では、文章全体の構成を捉えて、要旨を把握することに課題が見られました。中心となる言葉や文に着目して文章を読む学習を積み重ね、読解力の向上に努めていきます。また、今後も読書活動を推進し、読む力を伸ばしていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	62.3%	○				
図形	56.2%	○				
測定	54.8%	○				
変化と関係	57.5%	○				
データの活用	62.6%	○				

【考 察】

- 「図形」の領域では、平行四辺形を作図する問題や、複数の図形の中から台形を選ぶ問題で課題が見られました。図形を実際に動かしたり分割したりする操作活動や、図形の性質について筋道を立てて考察する活動を取り入れながら、図形の意味や性質について確実に理解できるようにしていきます。
- 授業の中で、適用問題の時間を確保したり、朝学習やステップアップタイムで個に応じた指導を行ったりすることで、基礎・基本の確実な定着につなげていきます。

【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
エネルギー	46.7%					○
粒 子	51.4%	○				
生 命	52.0%					○
地 球	66.7%	○				

【考 察】

- 今回、電気の性質を活用したものづくりに関する問題や花のつくりや受粉、発芽の条件に関する問題といった、「エネルギー・生命」の領域に関する問題の正答率が高かったです。今後も実験や観察を通して「なぜそうなるのか？」を考える活動を大切にしたり、電気の利用や植物の成長など、生活の中で見られる現象と理科の学びを結びつけたりすることで、子どもたちの科学的な探究心をさらに育てていきます。
- 「粒子」の領域では、水が蒸発したり、結露したりする際の水の変化について「モデル図」を参考にしながら解答することに課題が見られました。「粒子の性質や動きはどうなるか」といった考えを文章や図で表現する力を身に付けたり、自ら論理的に説明したりすることができるようにするために、自分の考えを表現する場を意図的に設定し、筋道を立てて説明する力をさらに育てていきます。

令和7年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立小野田小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
小 6	全 国	32.6	49.1	15.3	2.8
	小野田	38.5	38.5	23.1	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 授業の中で、友達と協力して課題を解決したり、教師に質問したりするなど工夫しながら学習に取り組むことができている。できていないと感じている児童にはどのような方法があるか提示したり、個別に声をかけたりして支援していきます。
- 子ども達自身が新たな課題を見つけようとしたり、より詳しく知りたいという意欲を高めたりすることができるように、日々の授業を工夫、改善していきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小 6	全 国	12.1	12.8	29.1	27.4	12.9	5.7
	小野田	7.7	15.4	30.8	46.2	0.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 約半数の児童が、目標としている70分（学年×10分+10分）の学習に取り組んでいます。一方で、学年の目標時間に達していない児童も半数います。家庭学習の習慣が身につくように、家庭学習の取り組み方を指導し、家庭での学習習慣が身につくようにしていきます。
- 「パワーアップカード」をもとに、家庭学習の計画の立て方についてアドバイスをしたり、「校内ノート展」でよい自主学習の取り組みをしている児童の学習内容を紹介したりしながら、家庭学習の質の向上を図っていきます。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小 6	全 国	31.2	48.2	17.1	3.3
	小野田	46.2	30.8	15.4	7.7

(単位 %)

【考 察】

- 学習した内容を見直し、次の学習につなげようという児童が多いことが分かります。学習内容は全て学びの連続であり、前の学習を活かして新たな学びにつながっていくことがほとんどです。学習内容を整理し、分かった点やよく分からなかった点、さらに詳しく知りたいことなどをまとめられるようにしていきます。
- 学習内容を確実に定着させるために「分かる授業」に努め、よりよい授業づくりのために全職員で研究を推進し、授業の改善を図っていきます。

4 あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思いますか。

		とても そう思う	そう思う	あまり そう思わない	そう思わない
小 6	全 国	50.6	39.2	8.4	1.7
	小野田	76.9	23.1	0.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- ICTを活用し、情報を収集することができています。また、他の質問から、ICTを使って、情報を整理したり、文書を作成したり、プレゼンテーションをしたりすることにも得意意識を持っていることが分かりました。今後とも、授業の中でタブレットを活用し、多様な学び方ができるよう指導していきます。
- ICTを上手に活用していけるようにするために、情報モラル教育を充実させ、間違った情報を取得しないようにしたり、時間を守って使用したりできるように指導していきます。